

使用上の注意点 (Alert Notes) ご使用前に必ずお読みください。

Enterprise Minerソフトウェア バージョン 2.02 UNIX版(サーバ)

「使用上の注意点(Alert Notes)」は、インストールの前あるいはソフトウェアを使う上において、知っておく必要のある問題点を列挙しています。不明な点がございましたら、SASインスティテュートジャパン・テクニカルサポートまでご連絡ください。

1. 導入時の注意点

- 1.1 Enterprise Minerソフトウェアのサーバとクライアントは、同じバージョンでなければなりません。クライアントのバージョンが2.0, 2.01の場合は、アンインストールしてから2.02をインストールしてください。以前のリリースをアンインストールするには、Windowのスタートメニューの”Enterprise Miner”の項目から、「Enterprise Miner 2.0の削除」、「Enterprise Miner 2.01の削除」を選択してください。
- 1.2 Enterprise Minerソフトウェアをインストールした後に、プロダクトの追加インストールを行った場合で、そのプロダクトをEnterprise Minerソフトウェアで使用するには、config.dmineファイルにプロダクトのパスを追加する必要があります。

2. Enterprise Minerソフトウェア ご利用時の注意点

- 2.1 アセスメントノードで描かれるグラフにおいて、ターゲット変数に日本語の変数、もしくは日本語のフォーマットが設定されている変数を指定すると、結果が表示されない場合があります。ターゲット変数には、日本語が含まれている変数、および日本語のフォーマットが設定されている変数を指定しないでください。
- 2.2 **HP-UX 10.20環境でご利用になる場合は必ずお読みください。**
10.20よりHP-UXのVirtual Memory Management Systemの動作が変更になり、標準では、non-shared memoryモードで実行されます。Enterprise Minerソフトウェアをnon-shared memory モードで実行すると、多くのメモリを必要としパフォーマンスが悪くなりますので、次の作業を行い、shared memoryモードで実行することを強くお勧めします。

1. 作業ディレクトリをEnterprise Minerソフトウェアのディレクトリに変更します。

たとえば、SASシステムが /usr/local/sas612 ディレクトリにインストールされている場合、cdコマンドで次のディレクトリに移動します。

例) %cd /usr/local/sas612/addon/dmine

2. 希望により、sasexeディレクトリのバックアップをとります。
3. 次のコマンドを含めたpatchem.shという名前のスクリプトファイルを作ります。
下のスクリプトファイルの例では、SASROOTディレクトリを /usr/local/sas612 と仮定していません。

```
#!/bin/sh
SASROOT=/usr/local/sas612
for appendage in $SASROOT/addon/dmine/sasexe/*/*
do
  chmod 0777 $appendage
  if [ "$?" != 0 ]; then
    echo "ERROR: You must have write access to the file" $appendage
    echo "Please correct and re-run this patch."
    exit 1
  fi
  $SASROOT/utilities/bin/drel -f -m 7 -7 $appendage
  echo ".¥n"
  chmod 0555 $appendage
done
```

4. patchem.shスクリプトファイルに実行権限を与えて、実行します。

```
%chmod 0755 patchem.sh
%./patchem.sh
```

3. SASシステム

- 3.1 Enterprise Minerソフトウェアをインストールすることにより、元のSASシステムのイメージが変わることはありません。Enterprise Miner用に変更されたSASシステムのファイルが、SASシステムの動作に影響を及ぼすことはありません。

Enterprise Minerソフトウェア用に変更された点を次に挙げます。

• Base SASソフトウェア

- CPORTプロシジャおよびCIMPORTプロシジャでデータマイニングデータベースがサポートされています。
- プロセスフローダイアグラムの機能が拡張されています。
- 3Dグラフオブジェクトの機能が拡張されています。

・SAS/STATソフトウェア

- ・FASTCLUSプロシジャに、欠損値に値を埋め込む際の新しい技法が追加されています。

4. その他

SASインスティテュートジャパンは、製品出荷後に発見された不具合に対する修正モジュールやマニュアルに記載されていない最新の情報等を次のサービスにより提供しています。

4.1 @nifty SAS Station

GO SAS コマンドでSASステーションへアクセスし、
[4.データライブラリ] [メンテナンスモジュール]を選択して最新の修正モジュールを入手することができます。
また、[4.データライブラリ] [ドキュメント]を選択して最新情報等をご覧頂けます。

4.2 WWW(World Wide Web)

WWW ブラウザを用いて、SAS インスティテュートジャパンのホームページ (<http://www.sas.com/japan/>)にアクセスし、
[テクニカルサポート] [FTPサービス] [FTPサービス---サーバに接続] [maint/] を選択して最新の修正モジュールを入手することができます。
また、[テクニカルサポート] [SAS FAQ]、[SAS HOW-TO]、[SAS Notes (Version 6)]等を選択して最新情報等をご覧頂けます。

4.3 Anonymous FTPサービス

ftp コマンドを用いて、米国 SAS Institute Inc. のFTPサーバ (<ftp.sas.com>) にアクセスし、
`/pub/webfiles/Japan/maint` ディレクトリに移動して、最新の修正モジュールを入手することができます。

ユーザID、パスワードは以下のように入力してください。

```
% ftp ftp.sas.com
ftp> Name(ftp.sas.com:userid): anonymous
ftp> Password: お客様のE-mailアドレス
ftp> cd /pub/webfiles/Japan/maint
```

上記サービスをご利用いただけないお客様で、修正モジュールが必要な場合には、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本文書の内容に関するお問い合わせは、弊社テクニカルサポートまでお願い致します。

株式会社SAS インスティテュートジャパン

本社	〒104-0054 東京都中央区勝どき1-13-1イヌイビル・カチドキ8F T E L : 03-3533-6921 F A X : 03-3533-6927
大阪支店	〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16アクア堂島西館12F T E L : 06-6345-5700 F A X : 06-6345-5655
九州営業所	〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2-14-1 小倉興産KMMビル3F T E L : 093-512-5014 F A X : 093-512-5016
テクニカルサポート	T E L : 03-3533-3877 F A X : 03-3533-3781

本文書の内容は予告なく変更されることがあります。

SASおよび米国SAS Institute Inc.の他のすべてのプロダクト名、サービス名は米国SAS Institute Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他本文中で使用しているシステム名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。